

企画展

ニセコ・有島記念館移動パネル展

ありしまたけお

有島武郎展

小説家・有島武郎の生涯や北海道での足跡について解説した
パネルを展示し、多様な顔——小説家、思想家、美術家、
不在地主——を紹介します。



有島武郎は1878(明治11)年に東京で生まれ、札幌農学校へ進学しました。卒業後はキリスト教信仰を深めるためにアメリカに留学、帰国後は東北帝国大学農科大学(現・北海道大学)教官となり、美術活動や貧困者への教育活動に携わります。その後、父が拓いたニセコの農場を譲り受けた有島は、雑誌『白樺』の同人として作品を発表し始めます。父と妻が没したことが契機となり、執筆活動に注力して「カインの末裔」で大正文壇に作家としての地位を確立しました。

2022年 1月29日(土) ~ 4月24日(日)

釧路文学館(釧路市中央図書館6階)

〒085-0015 釧路市北大通10丁目2番1号 TEL.0154-64-1740

開館時間:9:30~19:30

休館日:毎週月曜(祝日除く)、館内整理日(毎月最終金曜日)

年末年始(12月29日~1月3日)

共催:ニセコ・有島記念館

釧路文学館

Kushiro Museum of Literature

入館
無料

文学館の情報はこちらから
もご覧いただけます

